



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東
コード番号 2454 URL <https://corp.allabout.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也
問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 森田 恭弘 (TEL) 03-6362-1300
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 <https://corp.allabout.co.jp/ir/>
四半期決算説明会開催の有無 : 無 (決算説明動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,912	△4.5	△38	—	△30	—	△34	—
2023年3月期第1四半期	4,096	△1.9	35	△89.6	45	△87.2	11	△94.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △31百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 15百万円(△92.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第1四半期	△2	53	—	—
2023年3月期第1四半期	0	83	0	83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,945	4,846	44.9
2023年3月期	8,072	4,858	55.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,460百万円 2023年3月期 4,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	—
2024年3月期	—	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	8,490	1.9	0	△100.0	0	△100.0	△20	—	△1	46
	~8,900	~6.8	~70	~724.0	~70	~218.0	~30	—	~2	20
通期	17,890	5.7	200	—	200	866.1	90	—	6	59
	~18,850	~11.4	~400	—	~400	~—	~210	—	~15	37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の業績予想につきましては、レンジ形式により開示しております。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	14,103,600株	2023年3月期	13,960,900株
2024年3月期1Q	295,979株	2023年3月期	295,979株
2024年3月期1Q	13,676,034株	2023年3月期1Q	13,571,801株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び説明動画の入手方法)

2024年3月期第1四半期決算は、当社ウェブサイト(<https://corp.allabout.co.jp/ir/>)において動画を掲載する予定であります。この四半期決算説明動画で使用する資料についても、同日、当社ウェブサイト(<https://corp.allabout.co.jp/ir/>)に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が減衰し社会経済活動の正常化が進むなかで、企業の価格転嫁の動きや雇用・所得環境の改善等もあって、物価が上昇しつつも個人消費が持ち直し企業収益も改善するなど、景気が緩やかに回復していくことが期待される状況にありました。しかしながら、世界的な金融引締め等を背景とした海外経済の減速、金融資本市場の変動や物価上昇、国内金融政策の動向等による国内景気への影響を注視する必要があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境下で当社グループは、メディア&デジタルマーケティング事業とトライアルマーケティング&コマース事業を中心に、「個人を豊かに、社会を元気に。」というミッションのもと、総合情報サイト「AllAbout」における「ガイド」に代表されるような個人のチカラを活かし、ユーザーやクライアントの皆様にとって最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,912百万円(前年同四半期比4.5%減)、営業損失は38百万円(前年同四半期は営業利益35百万円)、経常損失は30百万円(前年同四半期は経常利益45百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は34百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益11百万円)となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、当第1四半期連結累計期間において、プログラマティック広告売上の基礎となるメディアセッション数の減少などでメディア売上が減少したことや、コンテンツマーケティングプラットフォーム「PrimeAd」の開発費用など、戦略投資が増加したことなどにより前年同四半期比で減収減益となりました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの外部顧客に対する売上高は388百万円(前年同四半期比3.2%減)、セグメント損失は111百万円(前年同四半期はセグメント損失76百万円)となりました。

(コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、dショッピングが堅調に推移し成長を継続している一方、サンプル百貨店の商品調達難による販売機会損失の発生などにより、前年同四半期比減収減益となりました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの外部顧客に対する売上高は3,523百万円(前年同四半期比4.7%減)、セグメント利益は191百万円(前年同四半期比23.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,769百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,890百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が141百万円、未収入金が2,192百万円、商品及び製品が77百万円増加した一方、売掛金が524百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は2,176百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは主に建物が5百万円、ソフトウェアが4百万円、ソフトウェア仮勘定が7百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,976百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,883百万円増加いたしました。これは主に未払金が1,923百万円、預り金が52百万円増加した一方、買掛金が103百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は122百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が1百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,846百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主に新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ29百万円増加した一方で、40百万円の配当実施により、資本剰余金が40百万円減少したこと、親会社株主に帰属する四半期純損失を34百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループは中長期的な成長に向け機動的に戦略投資を行う方針から、戦略投資額に一定の幅があること等を想定し、レンジ形式による開示としております。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,900,791	2,042,444
受取手形及び売掛金	2,021,413	1,496,731
未収入金	1,553,594	3,746,313
商品及び製品	287,320	364,882
未成制作費	15,475	26,562
前払費用	88,480	74,160
その他	18,002	20,609
貸倒引当金	△6,070	△2,573
流動資産合計	5,879,008	7,769,131
固定資産		
有形固定資産		
建物	261,610	261,610
減価償却累計額	△37,273	△42,482
建物(純額)	224,336	219,128
工具、器具及び備品	86,309	86,309
減価償却累計額	△48,715	△51,322
工具、器具及び備品(純額)	37,594	34,986
有形固定資産合計	261,930	254,114
無形固定資産		
のれん	7,172	6,428
ソフトウェア	996,201	992,069
ソフトウェア仮勘定	83,554	75,743
その他	522	522
無形固定資産合計	1,087,451	1,074,764
投資その他の資産		
投資有価証券	400,050	403,957
関係会社株式	66,318	68,385
破産更生債権等	15,938	15,938
差入保証金	305,037	305,566
繰延税金資産	40,260	39,039
その他	32,859	30,417
貸倒引当金	△15,938	△15,938
投資その他の資産合計	844,526	847,366
固定資産合計	2,193,908	2,176,245
資産合計	8,072,916	9,945,377

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,063,731	959,851
未払金	1,501,312	3,424,904
未払費用	373,272	318,210
未払法人税等	23,428	8,426
未払消費税等	7,662	35,567
前受金	77,569	119,785
預り金	30,397	82,910
賞与引当金	2,700	3,720
その他	12,783	23,206
流動負債合計	3,092,858	4,976,583
固定負債		
退職給付に係る負債	46,494	47,960
資産除去債務	74,350	74,350
その他	319	127
固定負債合計	121,163	122,438
負債合計	3,214,021	5,099,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,288,720	1,318,616
資本剰余金	2,153,747	2,142,648
利益剰余金	1,493,499	1,458,927
自己株式	△460,890	△460,890
株主資本合計	4,475,077	4,459,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,024	1,351
その他の包括利益累計額合計	△1,024	1,351
新株予約権	6,323	6,130
非支配株主持分	378,519	379,572
純資産合計	4,858,894	4,846,355
負債純資産合計	8,072,916	9,945,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,096,754	3,912,115
売上原価	1,696,266	1,633,423
売上総利益	2,400,487	2,278,692
販売費及び一般管理費	2,364,525	2,317,068
営業利益又は営業損失(△)	35,961	△38,376
営業外収益		
受取利息	810	776
受取配当金	5,000	1,000
助成金収入	2,700	—
投資有価証券評価益	—	769
持分法による投資利益	2,145	2,067
その他	989	3,286
営業外収益合計	11,645	7,899
営業外費用		
支払利息	6	—
投資有価証券評価損	970	—
その他	1,354	237
営業外費用合計	2,331	237
経常利益又は経常損失(△)	45,274	△30,714
特別利益		
新株予約権戻入益	—	50
特別利益合計	—	50
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	45,274	△30,664
法人税等	32,987	2,854
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,287	△33,518
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,031	1,053
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	11,255	△34,571

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	12,287	△33,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,974	2,376
その他の包括利益合計	2,974	2,376
四半期包括利益	15,261	△31,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,229	△32,195
非支配株主に係る四半期包括利益	1,031	1,053

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、当社グループの四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	401,087	3,695,666	4,096,754	—	4,096,754
外部顧客への売上高	401,087	3,695,666	4,096,754	—	4,096,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,306	696	15,002	△15,002	—
計	415,394	3,696,362	4,111,757	△15,002	4,096,754
セグメント利益又は損 失(△)	△76,065	249,445	173,379	△137,418	35,961

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△137,418千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△137,418千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	388,401	3,523,714	3,912,115	—	3,912,115
外部顧客への売上高	388,401	3,523,714	3,912,115	—	3,912,115
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,347	510	15,857	△15,857	—
計	403,748	3,524,224	3,927,973	△15,857	3,912,115
セグメント利益又は損 失(△)	△111,478	191,189	79,710	△118,087	△38,376

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△118,087千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△118,087千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。